

●竹ペンが配布される 3月17日 京都府立植物園 創立100周年記念フォーラム 歴彩館

先日京都府立植物園で「京都の文化と生物多様性」—動植物標本のデジタル化の意義—というフォーラムが開かれ、里山の会の光田先生が講演をされました。大村理事用と太田理事が出席されました。その感想文が届きましたのでお伝えいたします。

標本や資料をデジタル化して保存することと保存するだけでなく簡単に引き出せるようにすること。又各地、各団体、

各館などの標本をそれぞれが保存して、デジタル化したデータをセンターなどの集約して、どこからでも、誰でも見ることが出来るようにしようとしている（制約をかけることも可能）。里山の会としては、木津川の植物標本をデジタル化する事業が考えられる。植物写真のデータも整理して保存することも必要。

この日の参加者に対して里山の会が製作した竹ペンが配られ、受付でも展示されました。



●農機具の使用 安全講習会 開催される 3月16日(土) 里山農園 講師:井辻三寛さん

草刈り作業は里山農園でも木津川の希少種保護でも非常に大事な作業です。そこで使用する肩掛け草刈機は簡単に扱えるものですが、危険も伴いますので、里山の会として農機具の安全使用について専門農家さんから学ぶ機会を設定しました。講師の井辻三寛さんから使用者から5m範囲に近づかない事、ゴーグルの装着も強調され、連続した作業時間の危険性も注意がありました。参加者からは、基本に忠実でなければならない事を学び現場で生かしてゆきたいとの感想がありました。



●近畿建設協会交付金 2024年度 申請する 3月16日(土)

申請書を提出すると人件費や謝金の扱いに、丁寧な説明が必要との注意がとどきましたので訂正申請をしました。申請内容は里山農園の活動の充実で、栽培農園の発展と教育的な面から諸活動の改善を柱に申請いたしました。審査に合格することに大きな期待をしています。多くの皆さんが里山農園に出かけてくださるようなものにさせていければと思っています

●里山展 活動紹介芳名録記載者 105名 盛況のうちに終わる 3月17日

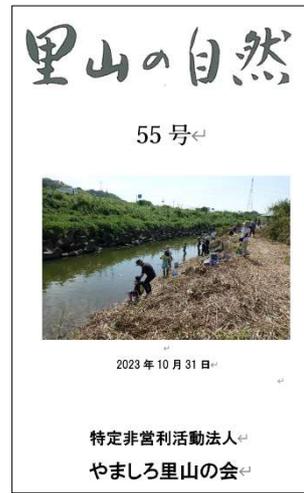
源氏物語に記載されている「野草花」に人気がありました。展示最終日に撮影者近藤和男さんが展示の視察に来いただきました。この展示はいま NHK の大河ドラマとして源氏物語の紫式部を主人公にしていますので、京田辺市中央図書館のギャラリー 甘南備での取組として再展示をしたものです。ご覧になっていただいた皆さんの中には、



は、熱心にカメラ撮影をされる方が数人おられました。これだけの写真(53枚)が説明書付きで展示される機会がありません。きっと良い学習されたと思われました。また写真を提供いただいた近藤和男さんは、いい展示会を開いていただいて、多くの方に撮影にしたものを見ていただき、役立って非常にうれしいと感謝されていました

●会誌 56号「仲間の広場」への原稿募集中（締め切り 4月10日必着）

里山の会の機関誌「里山の自然」は日ごろの取組にご参加が出来なかった会員の方々に活動報告をしてご理解いただく事や、会員同志の交流の場として年2回（春秋）発行を重ねてきて56回目を迎えています。56号への皆様からの原稿が思うように集まってきていないのが現状です。そこで締め切り日を延期（4月10日）して改めて原稿募集を行いますのでよろしくお願いたします。募集している原稿の演題がある方が書きやすいとの声がありましたので、①「私の健康法」、②「私の孫」、③「私が最近行ったところ」の紹介（旅行でも散歩でも）、④「キックバック」などの題目でお願いできないでしょうか。その他・スローガン「自然を大切に作る仲間の輪を大きくする」に特別こだわらなくても自由にお書きください。特に高齢者の皆さんは脳トレーニングとして気楽にお願いします。



●親子花見乗船体験の参加者の募集始まる

今年も、春を迎えて里山の会の取組の定番事業として馬坂川（京田辺市府営団地16棟横の第3公園付近）で「親子花見乗船体験」を4月6日（土）10:00~14:00で開催しますが、現在その参加希望者を募集しています。内容は綴喜西部土地改良区の協力を得て馬坂川に貯水を行って、摂南大学エコシビル部の学生さんの協力で親子10人乗りのEボートに乗り、桜満開の馬坂川を遊覧していただきます。また笠置町のフジタカヌーさんの協力を得てカヌー体験（一人用）の取組を実行してきました。いずれも無料で、参加申し込みをお願いします。（先着200人、保護者と子ども）



ふるさとの川や土地の状況・また木津川の果たしてきた役割、木津川で里山の会が取り組んできた紹介などのお話もご用意していますのでお聞きください。魅力いっぱいの楽しい取組です。今年で16回目のと取組みとなります。



●馬坂川（田辺府営団地第3公園付近）の清掃作業の実施 3月23日（土）10:00~12:00

河川に流れ込んでいるプラスチックゴミが海まで流れ込んで、マイクロプラスチックゴミとなって魚や鳥が餌と間違えて食べた魚の体内に蓄積されて、人間の体内にも入ってきていると報道されています。里山の会は先日（2月18日）に行われた木津川クリーン作戦で、山城大橋東詰めのごみを45人の皆さんと収集しました。里山の会は、3月23日10:00から12:00まで、木津川の支流となる馬坂川で、「親子花見乗船体験」の準備として、馬坂川でごみ拾い清掃作業を実行いたします。河川美化とプラスチックごみの除去のために多数の皆さんのご参加をお願いしています。現地集合でお越しください。火箸、ごみ袋、手袋をご持参ください。馬坂川の河床にも入る場合がありますので長靴のご用意があげが好都合です。皆さんのご協力を期待しています。

馬坂川の河床にも入る場合がありますので長靴のご用意があげが好都合です。皆さんのご協力を期待しています。

●ヤマトサンショウウオの新しい生育地が見つかる 3月19日
 里山の会が京田辺市で当時カスミサンショウウオの卵囊を発見したのは2007年でした。そして10年後の2017年に生体を発見しました。そして先日3月19日に第2番目にヤマトサンショウウオ（従来のカスミサンショウウオ）の成体と卵囊を里山の会の金田さんと太田さんの二人が発見しました。

最初の発見は里山の会が発足して約10年間探し続けて卵囊を見つけました。そして10年にわたって山野を探し続けて、やっと成体に出会いました。これで人間誕生以前からの生き物が京田辺市で生き続けてきていることが分かりました。その生き続けてきた環境を守ることに力を注いできました。ご指導を得てきた桜谷先生は、万一のことを考えて第二の生息地を用意するか、生育地を見つけなければとご指導をいただけてきました。この度、第2の生育地として発見できましたのは先生のご指導を現実に実現できたことになったのです。京田辺市にはこうした生き物が生き残ってこられた環境が存在していることが判明しました。市民の皆様と地域の方々と力を合わせてクモの糸のように生命が生き続けていけるようにしたいものです。ご協力をお願いします。



●第29回通常総会第3回理事会開催予定 3月23日（土）13:00

3月23日に2024年度の活動方針案を検討する第3回理事会を開催いたします。各理事諸氏は3月23日は朝から馬坂川のごみ清掃作業にご参加をお願いします。そして午後1時半から第3回理事会を開催となりますのでご出席のご予定をお願い致します。 2023年の決算と活動報告案と2024年度の活動方針案と予算案の検討と決定です。

●3月20日（祝）午前中に事務局会議を実施、午後からじゃがいもの植え付けを実施

作業開始予定の13時30分ごろは、強雨と強風で作業は中止・延期になるかと諦めかけていましたが、参加者の思いが通じたのか14時前後から約1時間は雨と風がおさまり、びしょ濡れにならずに作業を完了することができました。男爵とメークインの2種類で約200株（4畝）の植付けを行いました。



「ことしも上等」炭できた²⁰²⁴⁻³⁻¹⁷
 京田辺で窯出し作業 朝日新聞

京田辺市打田の里山にある炭焼き窯で9日、窯をあけて炭をとりだす作業があった。炭焼き技術を絶やさないようにとNPO法人やましろ里山の会が毎年しているもので、焼きかたを教えるのも、焼きたてを教えるのも、この地域の高齢者に「ことしも上等の炭ができました」と報告した。ちかくの山林からコナラを伐採して薪材とし、2月25日午前9時に火をつけ、28日午前7時に220度

窯から炭をとりだす参加者。京田辺市打田にある植西昇さん(92)の家を訪ねた。煙突からでてくる煙の量と色から各作業のころあいを教えてくれたことにお礼を言い、炭のできほえを伝えた。

昔は炭焼き窯が里山のおちこちにあった。炭は燃料として欠かせず、伐採は山の手入れであった。炭焼きの技術は親から子へと自然に伝わる営みであり、生活そのものだった。それが影も形もなくなってしまったことは時代だからしょうがないけれど、里山の会が炭焼き窯を守ってくれていることがうれしい。植西さんは、大村さんから報告をうけてそんなことを語った。 (下地)

度には達したので煙突と通風口を閉じた。そして3月9日午前9時からの窯出し作業をむかえた。

炭焼き体験に参加した藤原明日海さん(11)・知史海さん(9)・和空海さん(4)のきょうだいと寺村太希さん(9)は炭化粧をほめて「たのしかった」と口をそろえた。

作業をおえるころ、里山の会の大村幸正さん(82)は、窯から車で数分のとこ

南山城村議選
あさつて告示

南山城村議選(定数10)が19日に告示される。立候補の届け出は午前8時半から午後5時まで村役場で受けつける。投票日は24日にある。1日現在の選挙人名簿登録者数は241人。(下地)

3月17日付け朝日新聞
 炭焼きの窯出しの記事掲載